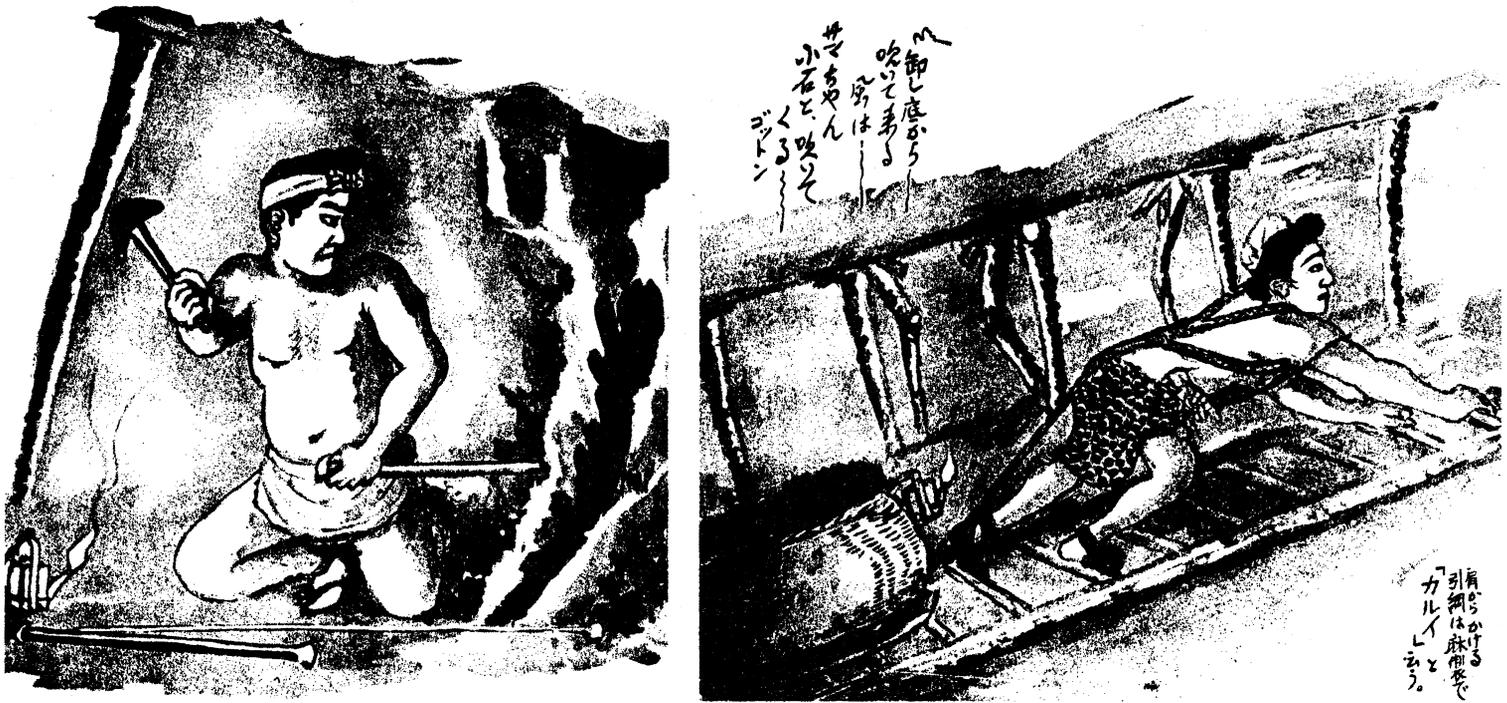




# 社会その2 (4枚のうち)

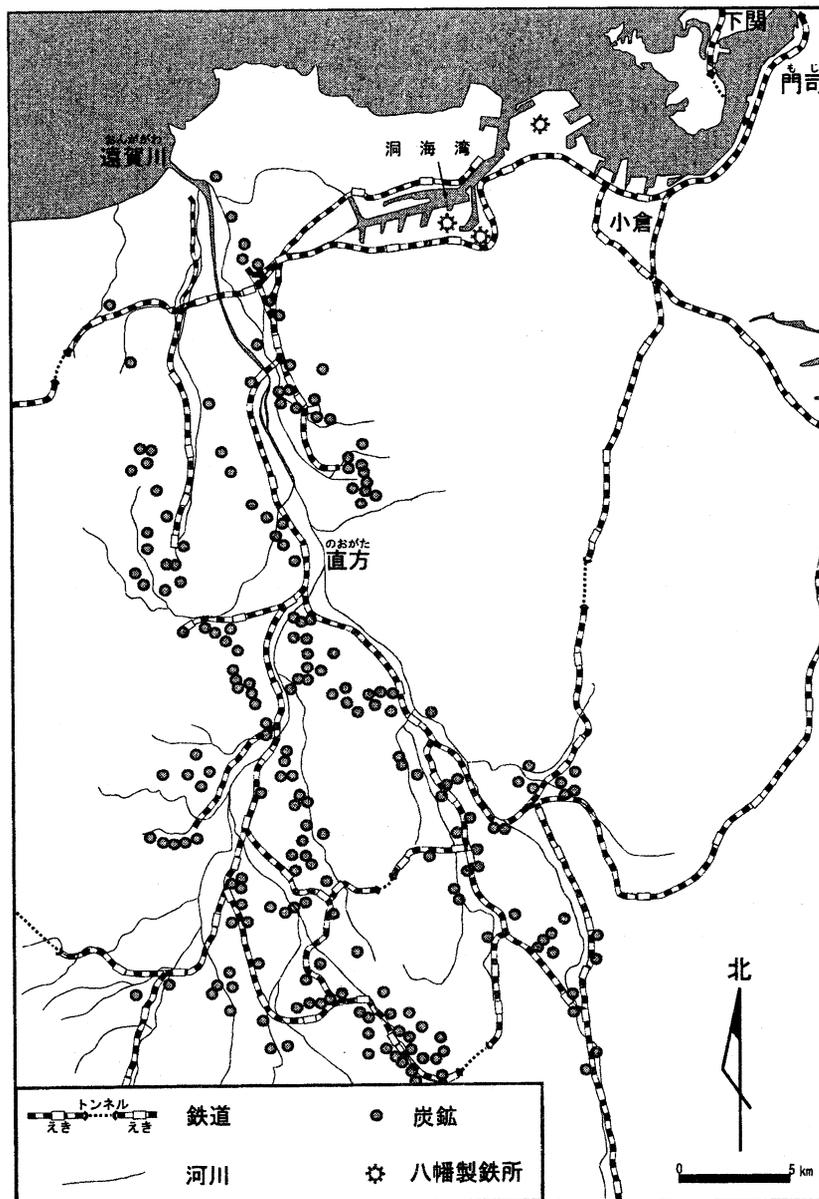
10	受験番号
中	

図1 明治時代中ごろの炭鉱労働のようす (左) 男性 (右) 女性



明治炭坑絵巻刊行会編『明治大正炭坑絵巻』、1963年刊

図2 1940年頃の筑豊炭田の炭坑分布図



筑豊石炭産業史年表編さん委員会編『筑豊石炭産業史年表』(1973年刊)より作成

10	受験番号
中	

## 社会その3 (4枚のうち)

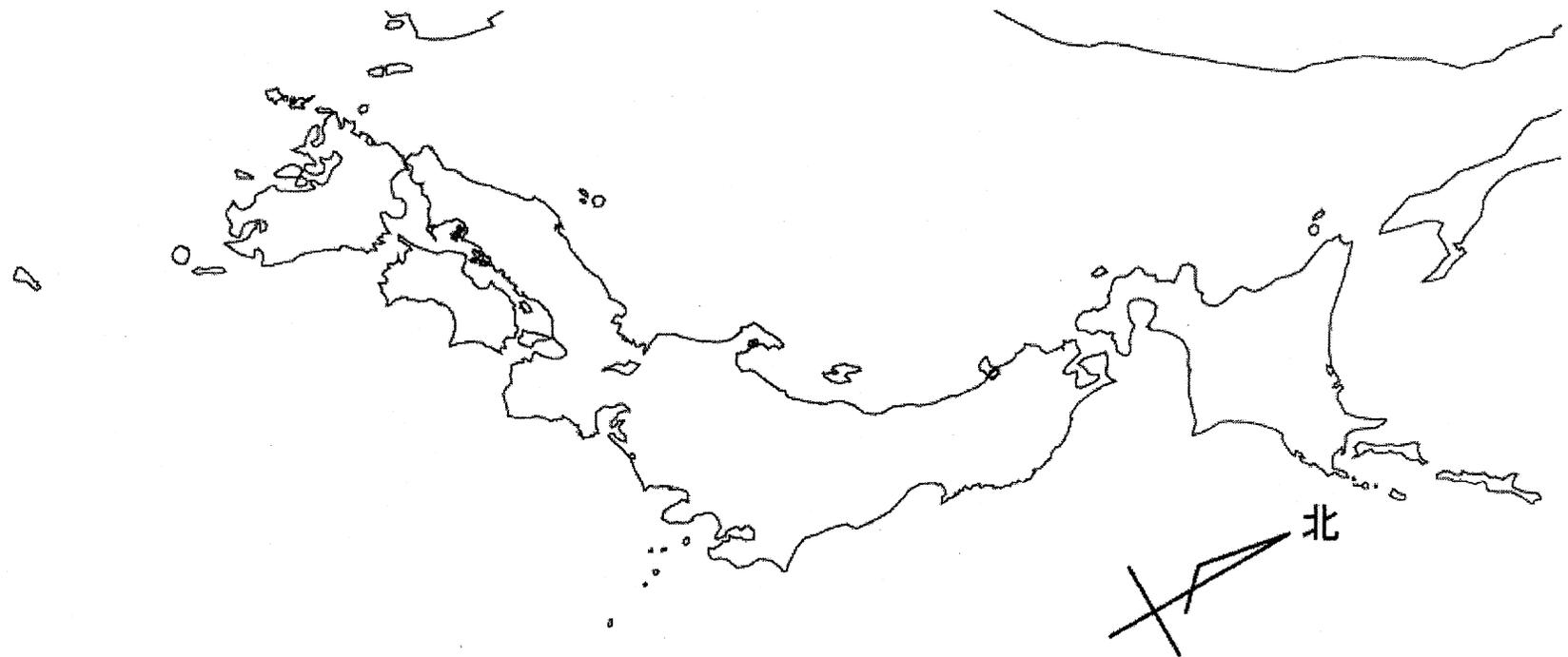
問1 江戸時代までの日本では、農業生産でどのような動力を利用していましたか。一つあげなさい。

問2 1850年代に高島炭鉱の石炭生産量がかなり増加した、といわれています。それは、日本の開国と関係があります。石炭の使われ方を具体的に答えなさい。

問3 図1は、山本作兵衛という人が明治時代なかばの炭鉱労働の様子を見聞きしたことをもとに描いた絵です。これを見て、当時の炭鉱労働について気づいたことを書きなさい。

問4 図2を見て以下の問いに答えなさい。

(あ) この図は日本のどの部分を示したものか。下の日本地図に □ で書き入れなさい。



(い) 図中の洞海湾沿いに製鉄所が建設されました。この土地が製鉄に適していた理由を答えなさい。

10	受験番号
中	

## 社会その4 (4枚のうち)

問5 グラフを見て以下の問いに答えなさい。

(あ) 1930年代の石炭生産量の推移と、その理由として考えられることについて、あわせて説明しなさい。

(い) 1940年代には、日本の炭鉱では労働力不足に悩まされていました。それを解決するためにどのようなことが行われましたか、答えなさい。

問6 石油について以下の問いに答えなさい。

(あ) 戦前の日本は石油をアメリカ合衆国からの輸入に頼っていましたが、現在ではアメリカ以外の国ぐにから多く輸入しています。日本が石油を輸入している主な国を二つあげなさい。

--	--

(い) 石油が石炭に比べてすぐれている点は何ですか。一つあげなさい。

(う) 1970年代に二度にわたる石油価格の上昇をきっかけに政治や経済は大きな影響を受けましたが、そのできごとはなんと呼ばれていますか。答えなさい。

問7 化石燃料に代わるものとして、太陽光・風力発電などのいわゆる新エネルギーへの転換が試みられていますが、これらにもまだ多くの課題が残されています。化石燃料と新エネルギーのそれぞれの問題点をあげた上で、これからのエネルギー利用のあり方について、君の考えを書きなさい。